

平成 28 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 28 年 8 月 19 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所
 本社所在都道府県 東京都
 本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階
 代表者 役職名 代表取締役社長 有賀 章
 問い合わせ先責任者 役職名 総務部次長 村井 則道 TEL (03) 5443-2991

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
28 年第 2 四半期	47,256	(14.0)	4,792	(-)	4,798	(-)
27 年第 2 四半期	41,446	(△25.0)	△2,349	(-)	△2,339	(-)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
28 年第 2 四半期	3,779	(-)	3,072 36	- -	6.0	6.8	10.2
27 年第 2 四半期	△2,968	(-)	△1,702 93	- -	△3.5	△2.5	△5.6

(注) 1. 期中平均発行済株式数 28 年第 2 四半期 1,230 株 27 年第 2 四半期 1,743 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円		千円		%	円 銭
28 年第 2 四半期	62,925	54,454	86.5	54,893	28	
27 年第 2 四半期	78,118	69,076	88.4	48,748	33	

(注) 期末発行済株式数 28 年第 2 四半期 2,025 株 27 年第 2 四半期 2,025 株

(自己株式 1,033 株を含みます)

(自己株式 608 株を含みます)

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
28年第2四半期	9,117	—	△21,704	46,650
27年第2四半期	△3,867	—	△30,910	61,504

2. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期 末	年 間
	千円	千円	千円				円 銭	円 銭
通 期	92,000	2,000	1,200	—	—	—	0 00	0 00

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期） 1,080円69銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額（通期）は、第2四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

平成 28 年 8 月 19 日

第 26 期 第 2 四半期報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号
 芝サンエスワカマツビル 10 階
 電 話 番 号 03-5443-2991
 連 絡 者 総務部次長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 26 期 第 1 四半期 自平成 28 年 1 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日	第 26 期 第 2 四半期 自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 28 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 28 年 1 月 1 日 至平成 28 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日
売 上 高	28,444	18,812	47,256	41,446
売 上 原 価	16,196	14,448	30,645	31,122
売 上 総 利 益	12,247	4,363	16,611	10,324
販売費及び一般管理費	6,328	5,490	11,818	12,673
営業利益又は損失(△)	5,918	△1,126	4,792	△2,349
営 業 外 収 益	6	0	6	9
経常利益又は損失(△)	5,924	△1,126	4,798	△2,339
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	5,924	△1,126	4,798	△2,339
法人税・住民税及び事業税	927	△251	675	88
法 人 税 調 整 額	343	0	343	540
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	4,654	△874	3,779	△2,968

期 別 項 目	第 26 期 第 1 四半期 自平成 28 年 1 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日	第 26 期 第 2 四半期 自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 28 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 28 年 1 月 1 日 至平成 28 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	1,417 株	1,043 株	1,230 株	1,743 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	3,284 円 75 銭	△838 円 48 銭	3,072 円 36 銭	△1,702 円 93 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	一円一銭	一円一銭	一円一銭	一円一銭

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第26期 第1四半期 自平成28年1月1日 至平成28年3月31日	第26期 第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	当期累計 自平成28年1月1日 至平成28年6月30日	前年同期累計 自平成27年1月1日 至平成27年6月30日
調査・出版事業	28,444	18,812	47,256	41,446
合計	28,444	18,812	47,256	41,446

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第25期末 (平成27年12月31日現在)	第26期 第1四半期末 (平成28年3月31日現在)	第26期 第2四半期末 (平成28年6月30日現在)
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	59,237	59,858	46,650
2. 売掛金	12,823	17,955	10,467
3. 貯蔵品	55	55	8
4. 前払費用	1,447	1,765	1,594
5. 短期繰延税金資産	343	—	—
6. 貸倒引当金	△76	△76	△76
7. その他	3	51	51
流動資産合計	73,833	79,609	58,695
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 工具器具備品	1,483	1,244	1,005
有形固定資産合計	1,483	1,244	1,005
2. 無形固定資産			
(1) 電話加入権	424	424	424
無形固定資産合計	424	424	424
3. 投資その他の資産			
(1) 敷金・保証金	2,379	2,379	2,379
(2) 長期繰延税金資産	420	420	420
投資その他の資産合計	2,799	2,799	2,799
固定資産合計	4,707	4,468	4,230
資産合計	78,540	84,078	62,925

科目	期別	第25期末	第26期 第1四半期末	第26期 第2四半期末
		(平成27年12月31日現在)	(平成28年3月31日現在)	(平成28年6月30日現在)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 未払金		398	302	205
2. 未払費用		2,438	1,709	1,764
3. 未払法人税等		179	974	722
4. 未払消費税等		1,451	1,918	3,128
5. 仮受金		—	215	—
6. 預り金		1,694	801	1,151
7. 賞与引当金		—	1,122	1,498
流動負債合計		6,162	7,044	8,471
負債合計		6,162	7,044	8,471
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金		53,000	53,000	30,000
2. 資本剰余金				
資本準備金		632	632	632
その他資本剰余金		—	—	23,000
資本剰余金合計		632	632	23,632
3. 利益剰余金				
(1) 利益準備金		12,618	12,618	12,618
(2) その他利益剰余金				
別途積立金		15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金		22,039	26,694	25,819
利益剰余金合計		49,657	54,312	53,437
自己株式		△30,910	△30,910	△52,615
株主資本合計		72,378	77,033	54,454
純資産合計		72,378	77,033	54,454
負債純資産合計		78,540	84,078	62,925

項目	期別	第25期末	第26期 第1四半期末	第26期 第2四半期末
		(平成27年12月31日現在)	(平成28年3月31日現在)	(平成28年6月30日現在)
発行済株式総数		2,025株	2,025株	2,025株
1株当たり純資産額		51,078円58銭	54,363円98銭	54,893円28銭

(注) 第26期第2四半期末株式総数は、自己株式1,033株を含みます。

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本									
	資本金	資本剰余金		資本 剰余金 合計	利益剰余金				自己株式	株 主 資 本 合 計
		資本 準備金	その他 資本 剰余金		利 益 準 備 金	その他利益剰余金		利 益 剰余金 合計		
						別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金			
平成 28 年 1 月 1 日残高	53,000	632	—	632	12,618	15,000	22,039	49,657	△30,910	72,378
第 1 四半期中の変動額										
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	—	—	4,654	4,654	—	4,654
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	—	—	4,654	4,654	—	4,654
平成 28 年 3 月 31 日残高	53,000	632	—	632	12,618	15,000	26,694	54,312	△30,910	77,033
第 2 四半期中の変動額										
第 2 四半期純損失 (△)	—	—	—	—	—	—	△874	△874	—	△874
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△21,704	△21,704
減資	△23,000	—	23,000	23,000	—	—	—	—	—	—
第 2 四半期中変動額合計	△23,000	—	23,000	23,000	—	—	△874	△874	△21,704	△22,579
平成 28 年 6 月 30 日残高	30,000	632	23,000	23,632	12,618	15,000	25,819	53,437	△52,615	54,454

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5経理の状況 (4)個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- | |
|---|
| 1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の1/4に相当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。 |
|---|

なお、当第2四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第26期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）の業績の概況

平成28年4-6月の国内景気については1-3月期に引き続き、低調です。個人消費は1-3月期がうるう年に伴う日数増があったことから需要をやや先食いし、横這いと推測します。また、設備投資につきましては政府の新たな経済対策決定が8月以降となることから、マイナスになると予測します。

当社のドメインとするICT分野の需要も低調です。サーバ、パソコンなどハードウェア売上がクラウドサービスの増大に伴って大幅に減少しています。また、大手銀行やグローバル製造業の基盤システム見直しが見直しがピークアウトしました。好材料の芽としては、製造業におけるIOTを活用した故障予兆を含む遠隔監視システム構築や、流通・サービス業のPOSデータやソーシャルメディアの情報を活用したBI及び需要予測のIT投資増加です。

当社の第2四半期（平成28年4-6月）の売上につきましては、昨年の第2四半期の28.1%減の反動から9.1%増と多少増えています。ただし、景気の先行き見通しが見えないことから企業ユーザーは大規模なマーケティング予算活用に慎重で、一昨年と比べると21.6%減とマイナスです。

これを事業別に見ますと、自社企画資料につきましては22.6%増と好調でした。第1四半期に作成した自社企画資料が第2四半期にピークを迎え、売上に貢献しました。ただし、一昨年と比べると14.1%減とマイナスで、新規テーマの2タイトルが計画倒れであったことが影響しています。

受託調査につきましては前年同期比11.5%減と減少しています。成約案件数は前年同期よりもかなり増えています。新たなニーズと製品を開拓する目的の調査案件が大半です。しかし大型案件が少なくなっています。金額面からは、受託調査は依然とマイナス基調が続いていると言えます。

これらの結果、当第2四半期の売上高につきましては、18,812千円（対前年同期比9.1%増）となりました。利益につきましては、営業損失1,126千円（前年同期営業損失4,427千円）、経常損失1,126千円（前年同期経常損失4,427千円）、四半期純損失874千円（前年同期四半期純損失4,470千円）と、前年同期と同様損失ですが、マイナス幅が大幅に圧縮されています。要因は、売上増加と代表取締役社長の年俸削減と言えます。

III 第26期通期の売上高及び利益の予測について

第26期通期の売上高及び利益の予測につきましては、売上高は第25期決算発表時点の92,000千円（前年比5.1%増）と変わりはありません。利益につきましては、同発表時期の経常利益2,000千円（前年比142.2%増）、当期純利益1,200千円（前年比258.6%増）の予測もそのままです。

IV 資金及び借入金状況

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

科 目	期 別	第26期 第1四半期	第26期 第2四半期
		〔自平成28年1月1日 至平成28年3月31日〕	〔自平成28年4月1日 至平成28年6月30日〕
現金及び預金の増減額		621	△13,207
現金及び預金の四半期首残高		59,237	59,858
現金及び預金の四半期末残高		59,858	46,650

（主な増減理由）

自己株式買上げによる21,704千円減少、売上債権7,488千円減少による増加、未払消費税1,209千円増加による増加、税引前四半期純損失1,126千円による減少、賞与引当金376千円増加による増加等が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

- (3) 長期借入金の増減
該当事項はありません。

- V その他
該当事項はありません。